

希少なヤツガタケトウヒが生育する森林

西岳・フウキ沢ヤツガタケトウヒ希少個体群保護林

設定目的

八ヶ岳及び南アルプスのみに分布するヤツガタケトウヒは、個体数が少ないことなどから環境省により絶滅危惧種（I B類）に指定されています。このヤツガタケトウヒを主体とし、天然カラマツ等も混交する個体群の保護・管理をしています。

地況・林況

八ヶ岳火山群の南麓、標高一、八五〇メートルに位置し、南西向き斜面の土壌が薄く母岩が露出した部分にヤツガタケトウヒが生育しており、土壌が発達した部分にはミズナラが優占しています。

シリーズ

中部の保護林(第45回)

所在地
長野県諏訪郡富士見町



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。